

(公財) J K A 「平成 25 年度福祉機器整備補助事業」による
(福)友愛福社会「特殊入浴装置整備事業」の自己評価報告書

1. 整備時期と工事について

整備には排水設備の改修及び床タイルの張替を要したため、2週間以上の工期を必要とした。そのため、利用者の入浴の必要性が低下する秋から冬にかけての時期を選択し、日程通り2週間の工期で整備完了した。

2. 利用者の反応

綺麗で清潔感があり、安心して入浴ができる設備で、利用者の評判は上々である。温度調整が自動のために冷めることがなく、「良く温まる」との声が聞かれる。

3. 介護職員の反応

安全機能が格段に進化しているが、古い設備で介護職員が身につけた安全確認の手順はすぐに変更することは難しいため、介護職員が新しい特殊入浴装置の機能を完全に活用できるようになるまでには、当初の予定より時間がかかる状況である。しかし、利用者へのサービスを第一と考え、焦らずに取り組んでいくこととする。

4. 広報活動について

法人の広報誌やインターネット上への掲示で、(公財) J K Aの補助事業であることを広報し、法人の関係者のみならず、地域の住民や世間一般にも、幅広く周知が進んでいる状況である。

平成25年12月25日

社会福祉法人 友愛福社会
理事長 内田 征志 様

評 議 員 斎藤 繁

評 議 員 山本 清

理事・整備事務責任者 五喜田博之